つた。
更に三月二十五日の第二回青年部会は行動方針書作製に関する議題を中心に持たれ種々討議の結果四名の起草委員を挙げて草案を作製さし正式部会によつて決定すべきことになつた。
二月十日の第三回青年部会は研究会開催の件が議題となり二月十七日党本部にその第一回研究会を開催した。出席者は主として東京府聯、青年分子十一名にて各地区に於ける青年の活動状態の報告があり研究題目として労農青年大会に対する批判、全国大衆党青年部の任務に就て活発なる討論が行はれた。
其後三月下旬より四月までの間に第三回青年部会に於て決定したる行動方針書作製に関し三回に亘つて起草委員が持たれたけれども遂に其脱稿を見ずに終つてゐる。
部員中辞任者あり現在に於ては二名の欠員となつてゐる。

婦人部報告

部長 岡田宗司
主任 浦瀬力松

党第二回大会以後我が婦人部が党支持の無産婦人同盟と協力して遂行せる闘争は左の如くである。

(一) カール・ローザデー（一月十五日）の闘争
ローザ・ルクセンブルグの死を記念するため無産婦人同盟との協力の下に一万枚のビラを作成し、その他東京市内外に張りめぐらし各地方支部に送付し、また茶話会等を開催してこの日を戦ひ抜いた。

(二) 無産婦人大会の開催
二月八日午后一時より世田協調会館に於て社民婦人部並に社会民衆婦人同盟と我党婦人部並に無産婦人同盟との共同闘争に依つて「徹底普選獲得無産婦人大会」を開催し参加人員一千余名、前例なき準備の無産大衆の動員を見、大会終了後決議を以つて安達内相官邸へ大衆的婦人デモを敢行したが、その途上警官隊と衝突し三十数名の婦人闘士が検束された。

(三) 国際婦人デーの闘争
三月八日の国際婦人デーを闘争を以つて紀念すべく三月一日より八日までを闘争週間として[illegible]作成、配布をなし、また堺真柄、織本貞代の両氏は、福[illegible]大阪、名古屋、東京等に遊説し、婦人同盟支部組織に努めた。
同[illegible]大阪[illegible]計十[illegible][illegible]反対の声